

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 274 号 2021. 2. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

昨年の困難を乗り越えて 群馬県 中島敬太郎

自然農法を始めて今年で 23 年になります。昨年のりんごに関しますと、春先は暖かい日が続いていましたが、突然強い低温に見舞われ、霜の害を受けました。ふくらみかけたつぼみや、花の芯が傷み、本来の花つみ作業ができませんでした。そのため花が散ってから、がく立ちをし、大豆ほどの実になってから摘果をして、その中でも大きく育ちそうな実を残しました。こんなことは 40 年の果樹栽培の中でもないことでした。

7 月には今まで経験にないほどの雨が続き、日照不足に。1 カ月に 4 日のみ晴れるという天候でした。一方、8 月は 40℃を超える猛暑が続き、日焼けの症状を起こした果実が多く発生。9 月にはまたもや長雨を受けました。

秋になって果樹の集まりがあり、周りの農家の話を聞くと、隣の中之条地区ではカメムシの大発生にて、7 割のりんごが被害に。育ちが悪く、平年の 3 分の 1 の大きさのものが 3 割という信じられない状態を聞かされ、私と息子は返す言葉がありませんでした。特に被害のあった方は、一般栽培の中でも、肥料にこだわり、農薬にこだわってきた農園の方だったのです。自然農法の栽培では、このような気象の厳しい中でも、一般栽培ほどの影響がなかったことに、とても感謝しております。

秋野菜においては、じゃがいも(北あかり)の成育は少し小さかったものの、ホウレン草、大根、春菊、長ネギ等は例年と変わらない生育状態で、甘みも強く、香りも良いと、皆さんに喜んでいただけ、心を込めて栽培する大切さを改めて感じています。

りんごの収穫については、やはり春に一度強い霜を受けて育った実は、触るとりんごの表皮がザラザラとしたサビ果といわれるものが多くなったり、日焼けのために傷んだりしたものが多くなって、見かけの良いものが少なくなってしまったのですが、11 月 3 日には感謝の心で八王子にお持ちし、一部は子供さんにも喜んでいただけるリンゴチップになってくれました。

昨年は、コロナ禍の中、食が心と体を守ることを改めて認識した大切な 1 年になりました。今年も、ひとりでも多くの方に自然農法の作物を届けられるように、家族で力を注いでまいります。自然農法の大切さ、食の大切さを考えて、コロナ禍をしっかり乗り越える時なのではないでしょうか！



2020 年 稲作報告 ②

そして昨年 5 月、念願だった栃木の五十嵐さんの田植えにお邪魔させていただきました。徹底した補植は、五十嵐家の自然農法への姿勢を感じさせます。種まきから収穫まで、土や稲、また野菜を愛し、尊び、徹底した除草により、日水土、自然農法への愛と力が作物に込められるように感じます。今後の生産から頒布会での活躍に注目していきたいです。

北陸福井のコスモファームの黒田さんは、いろんな問題がありました。しっかり取り組み、無施肥無農薬でお米を作り、大豆も作り、とても美味しいお味噌と高評価を頂いています。お米と大豆、それぞれの味もぜひご賞味ください。

同じく福井池田町の富田さんは、お米作りのみならず、



昨年 5 月 27 日 五十嵐さんの田んぼ

「自然農法のもを多くの人に食べていただきたい」「困ったときに食べやすく」「子供やお年寄りにも優しく」等々の思いから、池田町に加工所が出来たことをキッカケに、田んぼで忙しい中でも時間を作り、米粉、ボン菓子、レトルトおかゆ、麴ドリンク、乾燥麴等まで製造販売しています。自分のお米以外未使用、添加物なしです。

まだまだ熊本、宮城、静岡、石川、山梨、千葉、新しい方、歴史ある方ありますが…いろいろな思いを含め、「稲作生産者にお陰様、感謝」です！

今こそ、自然農法の「食」が大切なときだと思います。2021 年、私たち消費者も「自然農法」実食と、美味しさの喜びをお知らせしていきたいと思ひます。TOREK 自然農法活動で、「生産・流通・消費のおかげ様の輪」を、さらに大きく作り出していきたいと思ひます。(自然農法普及員 野中康次)

よい素材でのクッキー作り！

東京都 北島由紀

私はお菓子やパンを作ることも食べることも好きで、人に会うときにお菓子を作って土産にしたり、友人と情報交換をしたりしています。以前、六町グループの皆さんに私の作ったクッキーを食べていただいたことから、今度は自然農法の粉を使って焼いて、「一点頒布会」で販売してみたいというお話を頂きました。月に一度、自然農法のものを使って手作りしたものを販売する活動です。

昨年 12 月がクッキーと決まり、色々な種類を手分けして焼いてセットにして販売することになりました。私は紅茶、お茶、プレーンのクッキーを、自然農法の小麦粉、卵、粉末茶を使って作りました。

自然農法の粉はきめ細かく、以前強力粉でパンを作ろうと手でこねていると、生地がやさしくやわらかくて気持ちよく、癒されたことを思い出しました。自然卵は卵白の弾力がすごくて、いつも定番にしているウサギ型のクッキーと同じレシピで作ったのですが、出来たクッキーは厚みがあり、大きく感じました。食感もいつもよりしっとりホロホロして、素材って大事だと思いました。

当日は行けなかったで、前日の朝からクッキーを焼いてお届けしました。あとから、クッキーは完売し好評だったとうれしい報告を頂きました。「いつものクッキーも十分美味しいけど、これはうさぎクッキー・プレミアムだね！」という感想に、なるほどと思いました。

今回のクッキー作りで素材のすばらしさを感じましたが、それ以上に、グループの皆様と一緒に、自然農法活動に取り組めたことが、大きな喜びとなりました。貴重な体験をありがとうございました。



体調不良に自然農法の作物

神奈川県 児玉裕也

12 月 7 日、午前 4 時ごろ、お腹に違和感を覚え、目が覚めました。トイレに行くと、大量の水下痢が出ました。そして、30 分後くらいに気持ち悪さを感じ、おう吐しました。その後は胃がキリキリと痛み出し、自分の体に起こった異変を理解できず困惑しました。しばらくして、何か食べなくてはと思い、冷蔵庫を開けましたが、その中のものを食べたいと思えませんでした。そこで自然米が目にとまり、おかゆを作りました。食べ終えた後、また気持ち悪さを感じ、おう吐してしまいましたが、自然米を戻すことはありませんでした。

自分がこのような体験をすることで、改めて自然農法の作物の偉大さを実感しました。また、食べものが身近に溢れていても食べることができない恐怖を体感しましたし、普段食べたいと思っているものが本来、体が欲しているものではないかもしれないと思うきっかけにもなりました。下痢はその日 1 日中治まることなく、水分の摂取が必須でしたが、自然農法のお茶は水よりも抵抗なく喉を通り、失った水分を補うことができたため、脱水症状に陥ることはありませんでした。本調子になるまで月日を要しましたが、その後、前からあった肩こりが軽減し、腎臓の鈍い痛みもなくなりました。

自然農法の作物のおかげで、今回のような状況乗り越えることができました。生産者の方々には感謝してもしません。これを機に、添加物等のなるべく少ないものを選ぶなど、「食」への意識の向上に努めていきたいと思ひます。

お知らせ (変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 3 月 15 日(月) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>